

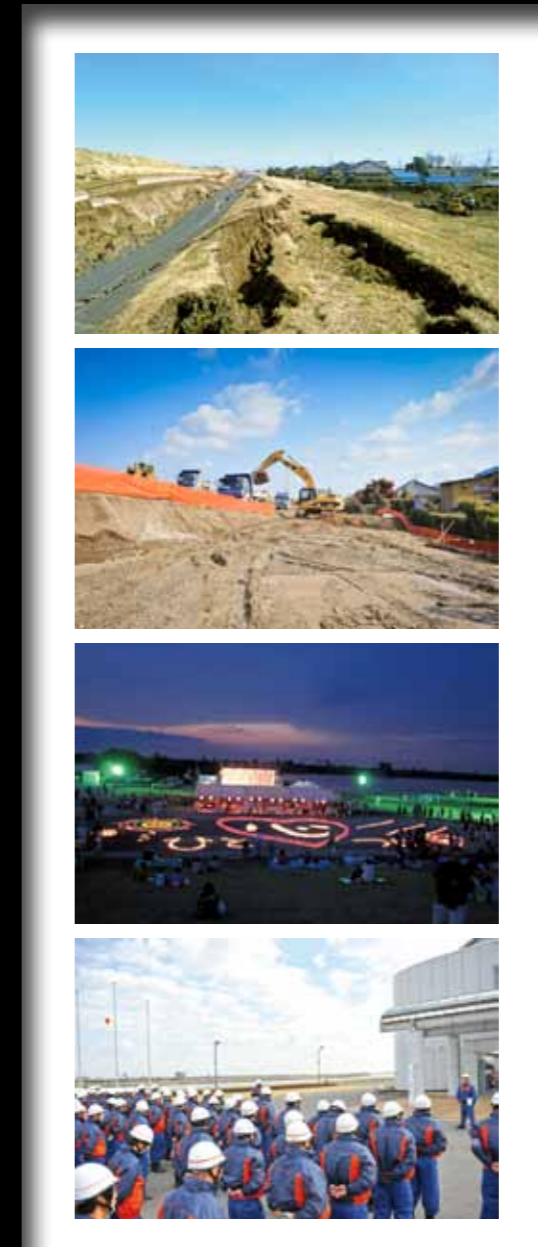
後世へ—3.11の爪跡と私たちの営み

【栄町 東日本大震災記録誌】



後世へ—3.11の爪跡と私たちの営み

【栄町 東日本大震災記録誌】



東日本大震災記録誌の 刊行にあたって

平成23年3月11日 14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の海溝型地震（東北地方太平洋沖地震）が発生しました。この大震災により亡くなられた皆様方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

当町においても、震度5強を観測し公共施設をはじめ住家・農地など、これまでに経験したことのない甚大な被害を受けました。

この東北地方太平洋沖地震による未曾有の大震災から、栄町においても道路、下水などのライフラインや町公共施設の復旧に全力で取り組み、一定の復旧を終えることができています。

しかし、未だ仮復旧のままの緑地や道路、液状化地区、下水道施設、スポーツ施設などがあります。今後の皆様の生活への不安や支障を早急に解決するため、完全復旧・完全復興へ取り組まなければなりません。

さて、栄町では、この大震災で受けた被害状況と復旧・復興対応を記録誌として保存し、この災害を事実として捉え後世に伝えるとともに、今後の町の初動対応や防災対策の推進の一助になることを期待します。

平成24年3月

栄町長 **岡田 正市**

栄町民憲章

水と緑に恵まれた栄町は、先人たちの残した歴史に囲まれている私たちのふるさとです。私たちは、このすばらしい自然と伝統を守りながら、豊かで明るい田園観光都市をつくりあげるため、この憲章を定めます。
(昭和61年10月1日制定)

- 一、歴史と自然を守り
美しいまちをつくりましょう。
- 一、他人をおもいやり
住みよいまちをつくりましょう。
- 一、若い力をそだて
明るい未来のまちをつくりましょう。
- 一、働くことによるこびを感じ
豊かなまちをつくりましょう。
- 一、スポーツに親しみ
健康ですこやかなまちをつくりましょう。

目次



●序章 04
わたしたちのふるさと栄町
「水と緑に恵まれ、
歴史に育まれたまち」



●第1章 08
写真で見る栄町の被害状況
「2011.3.11
そのとき、まちは…」



●第2章 28
復旧・復興の足跡
「迅速かつ着実に
—明日へ—」



●第3章 38
支援と友情の輪
「まちの絆、日本の絆
—被災地へ—」



●第4章 46
みんなでつくる未来
「全町挙げて防災訓練
—安心・安全へ—」



●資料編 53

◎序章 わたしたちのふるさと栄町

「ひとが元気、まちが元気、
みんなで作る 水と緑のふるさと さかえ」



さかえまち利根リバーサイドマラソン・ウォーキング



歴史のまちに住宅地が広がる。手前は日本最大級の方墳「岩屋古墳」(国指定史跡)



緑の水田と青空がつくる美しい田園風景



ドラゴンカヌーと桜



栄町プロフィール

わたしたちのふるさと栄町は、千葉県の北部、利根川流域に位置し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川をはさんで茨城県に接しています。

総面積は、32.46km²で東西に約12km、南北に約5kmの東西に細長く、東部は一帯に高台で、山林や畑が多く南部及び西北部は平坦で豊かな水田地帯が広がっています。とくに周囲を利根川・長門川・将監川などの河川と北印旛沼に囲まれ、また丘陵地には自然のままの多くの緑が残っていることから、「水と緑の郷」として知られています。

東京都心から45km圏に入り、千葉市からは35kmの距離、成田国際空港へは10kmという好立地にあります。首都圏近郊の住宅地として調和ある発展を遂げ今日に至っています。



利根川に架かる若草大橋からの朝日

水と緑、四季折々の花、美しい景観…

栄町の魅力、それは何といてもこの豊かな自然環境です



菜の花・花菖蒲・コスモス…
栄町は花のまち



栄町さくら祭りINドラムの里



栄町はウォータースポーツも盛ん



印旛沼の夕景



千葉県立房総のむら・旧学習院初等科正堂(国指定重要文化財)



龍角寺古墳群第101号古墳
(国指定史跡)



北辺田の獅子舞(町指定文化財)



矢口の獅子舞(町指定文化財)



安食の酉まち



房総のむらに再現されている商家の町並みや農家

古墳群や名刹、文化財や伝統行事…

栄町の魅力、それは何といても悠久の歴史に彩られていること



銅造薬師如来坐像(国指定重要文化財)

栄町第4次総合計画基本構想

●まちづくりの基本理念

「誇りと愛着のもてるまち」

●将来像

「ひとが元気、まちが元気、みんなでつくる水と緑のふるさとさかえ」